

## 関係事業者・団体等ヒアリングについて

---

# 関係事業者・団体等ヒアリングの概要

- 2020年代に向けた情報通信の発展の動向を見据えた上で時代に即した電気通信事業の在り方の検討に資する観点から、**関係事業者・団体等に対し公開でヒアリングを実施。**  
 ※ このほか、個別事項について書面による質問を別途実施。

## 第1回

4月8日(火) 10時～

事業者・団体名	
1	株式会社ケイ・オプティコム
2	ソネット株式会社
3	DSL事業者協議会
4	日本通信株式会社
5	UQコミュニケーションズ株式会社

## 第2回

4月15日(火) 10時～

事業者・団体名	
1	日本電信電話株式会社
2	株式会社NTTドコモ
3	KDDI株式会社
4	ソフトバンク株式会社

## 第3回

4月22日(火) 10時～

事業者・団体名	
1	株式会社ジュピター・テレコム
2	(一社)日本ケーブルテレビ連盟
3	(一社)日本インターネットプロバイダー協会
4	徳島県知事(全国知事会情報化推進プロジェクトチームリーダー)
5	イー・アクセス株式会社
6	株式会社ティーガイア
7	(一社)テレコムサービス協会
8	(一社)情報通信ネットワーク産業協会

- ① 2020年代に向けたICTの利活用、技術、新サービス・産業等の動向
- ② 2020年代にふさわしいICT基盤の姿
- ③ ①、②に向けた事業展開等※

※サービス展開、ICT基盤の強靭化、ICTの利活用、技術開発、サービス開発、グローバル展開に関する事業展開 等
- ④ ①～③に向けた政策の在り方
- ⑤ 2020年オリンピック・パラリンピック東京大会に向けた取組

## 1. 2020年代に向けた情報通信の展望

- (1) 日本経済を新たな成長軌道に乗せるために必要なICTの役割は何か。
- (2) 2020年代に向けたICTの利活用、技術、新サービス・産業等の動向はどのようなものか。
- (3) ICTの役割や今後の動向を踏まえ、2020年代にふさわしいICT基盤の姿はどのようなものか。
- (4) (3)の姿を実現するためにICT基盤を担う事業者が果たすべき役割は何か。

## 2. 情報通信基盤を利用する産業の競争力強化のための電気通信事業の在り方 －世界一ビジネスがやりやすいICT基盤の提供－

### 世界一低廉かつ高速でビジネスしやすい環境の実現

- (1) 現在のICT基盤を担う事業者間での競争状況をどう捉えるか。サービスや事業主体の多様性についてどう捉えるか。料金水準についてどう捉えるか。
- (2) 2020年代に向けて、圧倒的に速く、限りなく安く、多様なサービスを提供可能でオープンなICT基盤を有線・無線の両面で実現し、ICT基盤を利用するあらゆる産業の競争力強化を図るには、何が必要と考えられるか。
- (3) 2020年代に向けて、ICT基盤を担う事業者の在り方について、どのように考えるか。

## 3. 情報通信基盤の利用機会の確保や安心・安全の確保のための電気通信事業の在り方 —世界に誇れるICTを利用しやすい国に—

### 世界に先んじてICTを全ての人の手に

- (1) 2020年代に向けて、**全ての国民にあまねく提供されるべきICTサービス(ユニバーサルサービス)の在り方**について、どのように考えるか。

### 安心・安全にICTを利用できる環境の整備

- (2) 2020年代に向けて、**より安心・安全にICTを利用できる環境**を確保するには、何が必要と考えられるか。

### 世界中から訪れたくなる国に

- (3) 2020年オリンピック・パラリンピック東京大会の開催等、グローバル化の一層の進展を踏まえ、**観光客やビジネスマン等**にとって国内外で**ICTを利用しやすい環境**を実現するには、何が必要と考えられるか。